

第 5 章

地区別福祉プラン

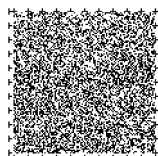
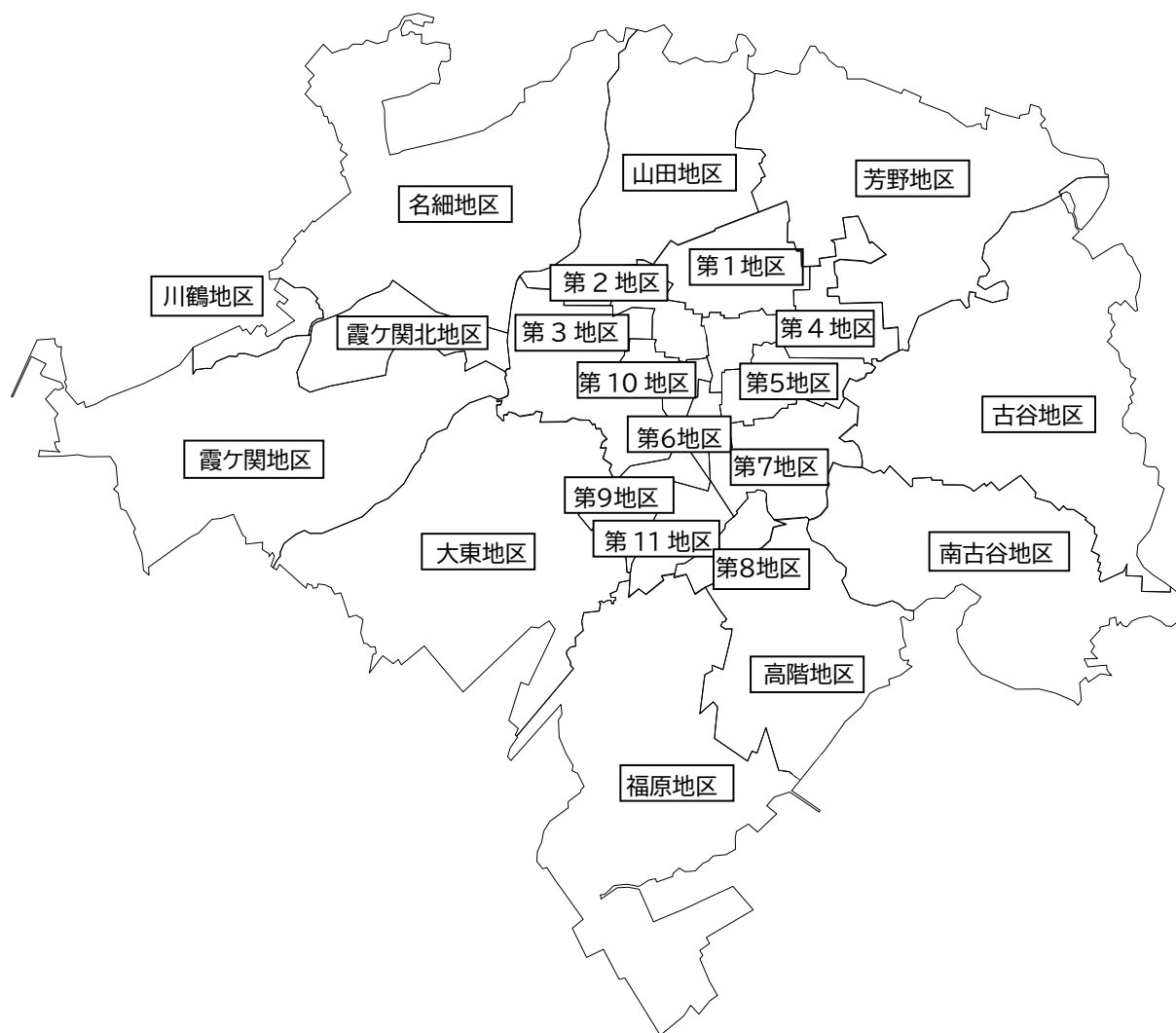
地区別福祉プランについて

第5章では、地区社会福祉協議会（地区社協）を中心とした地域組織が策定した「地区別福祉プラン」を掲載しています。地区の特徴や活動目標、具体的な取組は、地区ごとの思いが込められています。

なお、各地区の地図における道路やランドマークについては、必要最低限で掲載しているため、実際とは異なる場合があります。

地区別福祉プランは、地区社会福祉協議会（地区社協）ごとに福祉課題の解決を図ることを目的に策定しています。市民、各種団体、事業者等による支え合い・助け合い活動を促進するため、地区社協が中心となって協議・検討を行い、具体的な取組や目標を定めました。計画期間は令和3（2021）年度から同8（2026）年度までの6年間とします。80ページから81ページは地区別福祉プランの見方、82ページからは22地区の地区別福祉プランを掲載しています。

地区・自治会一覧

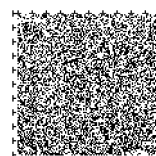


地区・自治会一覧

地区	自治会
第1地区	喜多町、志多町、神明町、宮下町1丁目、宮下町2丁目、宮元町、城下・氷川町
第2地区	石原町1丁目、石原町2丁目、幸町、末広町1丁目、末広町2丁目、末広町3丁目、仲町、元町2丁目
第3地区	上野田町、田町、野田町1丁目、野田町2丁目、東田町、今成1丁目、今成2・3丁目、今成4丁目、小ヶ谷、小室町
第4地区	大手町、久保町、郭町1丁目、郭町2丁目、三久保町、松江町1丁目、松江町2丁目、元町1丁目、伊佐沼新町、(杉下町)
第5地区	小仙波町1丁目、小仙波町2丁目、小仙波町3丁目、小仙波町4丁目、小仙波町5丁目、西小仙波町1丁目、西小仙波町2丁目、朝日マンション
第6地区	新富町1丁目、新富町2丁目、通町、南通町、脇田町
第7地区	仙波町1丁目、仙波町2丁目、仙波町3丁目、仙波町4丁目、富士見町、菅原町、大仙波
第8地区	岸町1丁目、岸町2丁目、岸町3丁目
第9地区	旭町1丁目、旭町2丁目、旭町3丁目、広栄町、脇田新町、脇田本町
第10地区	三光町、月吉町、中原町1丁目、中原町2丁目、連雀町、六軒町1丁目、六軒町2丁目、月吉住宅、野田月吉町、パークファミリア
第11地区	新宿町1丁目、新宿町2丁目、新宿町3丁目、新宿町4丁目、新宿町5丁目、新宿町6丁目
芳野地区	北田島、谷中、菅間上、菅間中・下、石田本郷、石田本郷新田、鴨田第1、鴨田第2、鴨田第3、伊佐沼、鹿飼、上老袋、中老袋
古谷地区	二ノ関、沼端、宿、堀之内、古川端、黒須、蔵根、古谷本郷上、古谷本郷下、小中居、大中居、高島、八ツ島、下老袋、東本宿、ワンダーランド、グリーンフィールド、(川越グリーンパーク、県営小中居住宅)
南古谷地区	南田島、牛子、木野目、並木、今泉、上久下戸、下久下戸、宮本、萱沼、渋井、古市場、南古谷団地、さくら堤、川越ハイツ、わかば台、木野目藤木、あゆみ、河原町、あすなろ、県営川越今泉団地、ライオンズ第3、アステール川越、県営久下戸住宅、レーベンスクエアサントレッセ、泉、レーベンスクエアコンセルティエ、
高階地区	藤間原、藤間上、藤間中、藤間下、藤間東、富士ヶ丘、藤間南、稲荷町、熊野町、清水町、諏訪町、藤原町、富士見、寺尾第1、寺尾第2、寺尾第3、寺尾第4、砂新田下、砂新田南、武蔵野、五ツ又、砂新田1丁目、砂新田若樹、砂新田3丁目、砂第1、砂第2、砂第3、砂弁天、高砂、新河岸、旭住宅、(砂新田2丁目、下松原鶴見野)
福原地区	下赤坂上、下赤坂下、大野原、武蔵町、中福南、中福北、上松原、下松原上、下松原下、今福上、今福下、今福原、霞町、中台元町、中台、中台南、砂久保、田園ハイツ、中台つつじヶ丘、スカイハイツ、今福北、今福団地、(今福住宅、メゾンむさし野)
大東地区	南大塚、向ヶ丘、緑ヶ丘、大塚新田、寿町1丁目、寿町2丁目、豊田町、豊田本、池辺、大袋、増形、日東町、大袋新田、山城、高橋、藤倉、猪鼻、かし野台、南台2丁目、南台3丁目、月山
霞ヶ関地区	的場下組、的場中組、的場上組、安比奈新田、大町、芳地戸、新町、本町、協栄、西部、大笠、上野、倉ヶ谷戸、川越グリーンタウン、山伝、水久保、かすみ野、フラワリー、笠幡台、笠幡グリーンパーク、的場1丁目、的場2丁目、花の街、(笠幡の森)
霞ヶ関北地区	霞ヶ関北、霞ヶ関東急ニュータウン、霞ヶ関東、霞ヶ関西、みなみ、的場初雁、伊勢原町1丁目、伊勢原町2丁目、伊勢原町3丁目、伊勢原町4丁目、グリーンコモンズ川越、県営川越いせはら団地、リバーサイド壺番街、伊勢原町5丁目
名細地区	鯨井、上戸、吉田、みよしの、天沼新田、小堤、小堤区、天金山、下広谷北、下広谷南、下小坂、平塚、平塚新田、鯨井新田、みどり会、広谷新町、住友あおい、川越ビレジ、ハイラーク、つくし、ファミリータウン春日、県営川越小堤団地、市営小堤団地、小堤東団地、天沼新田グランシア
山田地区	上寺山、寺山、福田、山田西町、北山田、南山田、府川、石田
川鶴地区	川鶴、かわつる初雁団地、かわつる三芳野団地、吉田新町

※ () 内の自治会は、自治会連合会に未加入です

令和2年4月1日現在

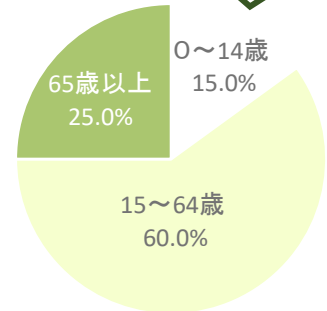


〇〇地区福祉プラン

円グラフは人口の年齢別割合を表しています。
※令和3年1月1日現在

地区の特徴が書かれています。
ワンルームマンションが多いところや、農業が盛んな場所など様々です。

■人口	
■世帯数	世帯
■民生委員・児童委員数	人
(主任児童委員を含む)	
■保健推進員数	人
■ボランティア団体数	団体
■老人クラブ数	クラブ
■福祉施設数	施設



活動目標 1



活動目標 2



活動目標 3



各地区の人口等を示しています。

【人口、世帯数】情報統計課（令和3年1月1日現在）

【民生委員・児童委員数】福祉推進課（令和2年4月1日現在）

【保健推進員数】健康づくり支援課（令和2年3月31日現在）

【ボランティア団体数】川越市社会福祉協議会（令和2年3月31日現在）

※市社協に登録しているボランティア団体数

【老人クラブ数】川越市社会福祉協議会（令和2年4月1日現在）

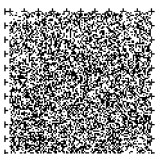
※川越市老人クラブ連合会に登録している老人クラブ数

（令和2年4月1日現在）

【福祉施設数】※令和2年度「保健・医療・福祉のしおり」

各地区で話し合い、取り組む内容を示しました。

今より暮らしやすい地域を目指して、みんなで頑張りましょう！



地図と主な地域資源



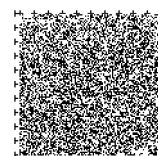
No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①		⑥		⑪	
②					
③					
④					
⑤					

地域で、人が集まり住民が主体となって活動している場所を番号で示しています。自治会館がそのひとつです。自治会館は、地域の活動拠点として幅広く活用されています。

【自治会館の主な活用方法】

- ◇みんなとおしゃべりや体を動かすサロン活動
- ◇仲の良いお友達と手芸サークル、歌唱
- ◇老人クラブの集会場所
- ◇地域の活動を話し合う会議会場
- ◇お祭り等イベントの開催地
- ◇地域の人と知り合いになる場所
- ◇気軽に相談できる人がいる場所

自治会館での活動が難しい場合は、企業や法人と協力し、場所を借りて活動しているところもあります。

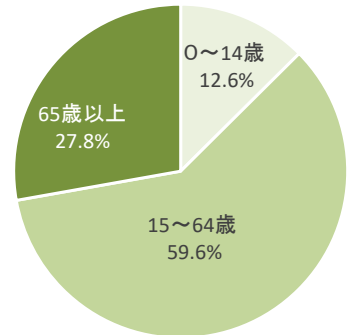


第1 地区福祉プラン

本庁管内の市役所の北に位置します。川越城のお膝元として、近世来の町名を今に残す由緒ある地域です。主要な道沿いには、商業の集積が見られますが、多くは住宅が密集するとともに、若干の空地も見られます。地区内には、新河岸川が流れ、氷川神社、妙義神社、神明神社、広済寺、東明寺、真行寺などがあります。また、公民館や児童相談所をはじめ、多くの公共施設もあります。

■人口	9,374 人
■世帯数	4,169 世帯
■民生委員・児童委員数	16 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	3 人
■ボランティア団体数	5 団体
■老人クラブ数	4 クラブ
■福祉施設数	9 施設

■年齢別割合



活動目標1 住民同士のつながりを大切にする地域にしよう

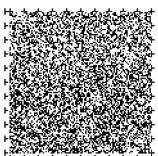
- ◇住民同士の交流を進めていきます。
- ◇様々な世代との交流を深めていきます。

活動目標2 だれもが安心して生活できる地域にしよう

- ◇地域にあった見守りの方法を推進していきます。
- ◇隣近所の見守りを充実していきます。

活動目標3 災害時に助け合える地域にしよう

- ◇防災意識を高めていく活動をしていきます。



地図と主な地域資源



①～⑤いもっこ体操教室(健康体操ハピネス)

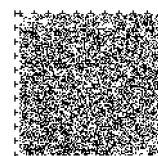


③地区別福祉懇談会事業



一人暮らし高齢者集い事業
(地区内会場)

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	志多町自治会館	③	宮下自治会館	⑤	神明町団地集会所
②	神明会館	④	宮元町自治会館		

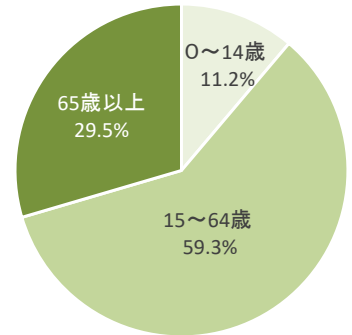


第2地区福祉プラン

昔から「商業の街川越」の中核をなしてきただけに、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「蔵造りの町並み」をはじめ、観光客に人気のある「菓子屋横丁」等歴史的遺産が数多く点在しています。県指定の無形民俗文化財「石原のささら獅子舞」の縁で、福井県小浜市と姉妹都市提携を結んでいます。

■人口	7,087 人
■世帯数	3,290 世帯
■民生委員・児童委員数	14 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	3 人
■ボランティア団体数	1 団体
■老人クラブ数	2 クラブ
■福祉施設数	10 施設

■年齢別割合



活動目標1 高齢者の交流の場や参加機会を増やします

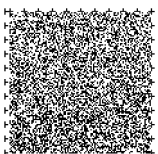
- ◇地域包括支援センターと協力して介護予防サポーター養成、認知症サポーター養成を行い、健康体操、健康講話等を各自治会館で実施し続けます。
- ◇折り紙ボランティアを継続し、子どもから高齢者までが一堂に集まれる機会を増やし、顔見知りの関係を築いてまいります。
- ◇世代間交流事業（七夕まつり）を継続し、伝統行事に触れながら、地域の中の交流を深めます。
- ◇川越まつりの際には、各自治会に子どもから高齢者までの交流の機会を設けます。
- ◇地区社協は、年2回75歳以上の一人、二人暮らし高齢者に品物をお届けする友愛訪問を継続して行います。

活動目標2 一人暮らしや高齢者のみ世帯を支えています

- ◇サポートを受ける側（高齢者）の意見を聴く機会を設けていますが、更に充実を図ります。
- ◇近くの家同士、交流の輪が更に広がるように働きかけていきます。（回覧板、地域の環境美化活動等）
- ◇「幸町楽友クラブ」が主体となって、高齢者の集いを月1回実施します。
- ◇民生・児童委員が主体となって、月1回高齢者に配食サービス事業をしています。
- ◇毎年敬老の日に、各自治会で長寿を祝う会を実施します。

活動目標3 災害時に地域で支え合える体制をつくります

- ◇自治会を中心に、災害が発生したときの初動対応マニュアルをつくり、それに基づいて防災避難訓練を行います。
- ◇自治会、民生・児童委員、保健推進員、老人クラブ等の地域の人々が行政や関係機関と協力して、高齢者や障害のある人に対して地震、水害、台風、防犯、孤独死防止等の危機管理のための情報を提供していきます。



地図と主な地域資源



⑥地区別福祉懇談会事業

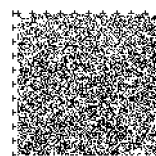


①～③⑤⑥七夕まつり



③幸町いもっこ体操教室

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	石原町自治会集会所（新）	③	幸町自治会館	⑤	仲町自治会館
②	石原町自治会集会所（旧）	④	末広町自治会館	⑥	六塚会館（元町2丁目自治会館）

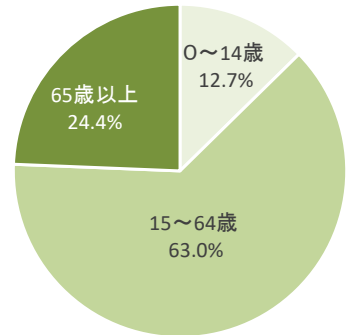


第3地区福祉プラン

本庁管内の西南に位置し、古い歴史を有するこの地には、東武東上線川越市駅・JR川越線西川越駅があるほか、河岸街道、川越日高線等の道路が交差し、交通の要所となっています。地域内には川越市保健所と川越市総合保健センターがあり、市の保健・福祉の拠点地域として市民に親しまれています。

■人口	17,026 人
■世帯数	7,935 世帯
■民生委員・児童委員数	24 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	5 人
■ボランティア団体数	9 団体
■老人クラブ数	2 クラブ
■福祉施設数	22 施設

■年齢別割合



活動目標1 地域のつながりを深める交流の場を作ろう

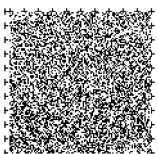
- ◇世代間（子どもから高齢者まで）の交流の機会が持てるイベント（グラウンドゴルフ、バス旅行、ハイキング、昔遊びの会等）を地区社協、自治会、育成会等が協力し合い企画実施する。
- ◇地域住民がふれあい交流できる場や機会（いもっこ体操、介護予防体操、ラジオ体操等）を通じて、積極的に健康維持活動をサポートする。
- ◇地域内であいさつや声かけが自然と習慣となるように自治会及び育成会他諸団体に積極的に働きかける。
- ◇広報活動の一つとして、「社協だより」の定期発行を継続させるとともに、その内容については地域住民が知りたい情報を把握し、地域福祉活動への関心を啓発する。

活動目標2 地域での見守り活動に取り組もう

- ◇民生委員・児童委員や自治会役員だけの見守り活動だけではなく、見守りの担い手としてのボランティアを募集し、地域のアンテナ役を増強する。
- ◇地域内で、自治会、民生委員・児童委員、育成会は協力した体制を構築するために定期的に会合を持ち、情報の共有化を推進する。
- ◇一人暮らしの高齢者が外に出かける機会を設ける（茶話会その他）。

活動目標3 災害に備える取組を充実させよう

- ◇地域内の自治会を中心とし、各種団体（育成会、老人会、交通安協会、環境推進委員会、青少年育成委員会、山車・囃子保存会等）やスポーツ等の同好会（グラウンドゴルフやソフトボールなど）そして民生委員・児童委員が一致団結し、安全安心なまちづくりを推進するとともに、地震・風水害などの災害に対処できるような地域の協力体制を構築する。
- ◇自治会及び自主防災会は地震及び水害時の避難場所を再検討し、さらに地区内のハザードマップを構築することにより、避難場所までの経路の周知徹底を図る。
- ◇災害発生時に一人暮らしの高齢者、要援護者に対するサポートについて、情報を把握している民生委員・児童委員は自治会と平常時に役割分担を確認しておき、もしもの時にスムーズな行動をとれるような仕組みを整備する。



地図と主な地域資源



①～③⑤⑨いもっこ体操教室

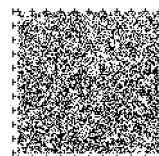


②地区別福祉懇談会事業



⑤一人暮らし高齢者集い事業

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	上野田町自治会館	⑤	東田町自治会集会所 (ココロマチ)	⑨	小ケ谷下集会所
②	野田町 1 丁目自治会集会所	⑥	今成自治会館	⑩	小室町自治会館
③	野田町 2 丁目自治会集会所	⑦	東条集会所		
④	東田町自治会集会所	⑧	小ケ谷自治会館		

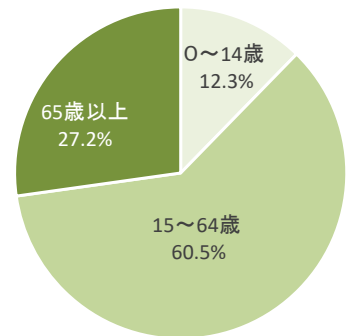


第4地区福祉プラン

旧市内の北東に位置しており、北に市役所、東に城の表玄関だった本丸御殿や城の櫓跡と伝えられる御嶽神社、わらべ唄で有名な三芳野天神等の遺跡等があり、昔から現在に至るまで、川越の政治経済や文化の中心地となっています。

■人口	5,734 人
■世帯数	2,677 世帯
■民生委員・児童委員数	12 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	2 人
■ボランティア団体数	5 団体
■老人クラブ数	3 クラブ
■福祉施設数	9 施設

■年齢別割合



活動目標1 人と人とのつながりを大切にしていこう

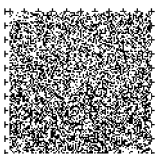
- ◇あいさつ運動や声かけ運動に取り組んでいきます。
- ◇隣近所の見守りを実施し、助け合える仕組みをつくっていきます。
- ◇気になる人・ことがあれば、自治会から民生委員・児童委員へ報告し、支援につなげる仕組みをつくっていきます。
- ◇サロン活動を引き続き実施し、楽しめる工夫をしながら参加者を増やしていきます。

活動目標2 若い人たちも参加できる魅力ある地域活動をしていこう

- ◇様々な世代の人が顔見知りになる機会をつくれるよう、世代間交流事業を継続して実施していきます。
- ◇自治会・老人会・育成会等と連携しながら事業を推進していきます。

活動目標3 災害時、地域で支え合える体制をつくろう

- ◇災害時に避難支援が必要な高齢者以外の住民についても、見逃さないように安否確認や声かけ等の取組を行っていきます。
- ◇自治会名簿や居住者カードを更新し、地域住民の情報を集め、災害時の要支援者の名簿と防災マップを作成していきます。



地図と主な地域資源



①④～⑥⑨いもっこ体操教室



世代間交流事業
☒川越小

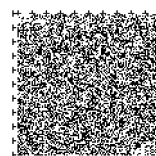


⑩一人暮らし高齢者集い事業



世代間交流事業
☒川越小

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	大手町自治会館	⑤	松江町 1 丁目自治会館	⑨	ミック健康の森川越
②	久保町自治会館	⑥	元町 1 丁目公民館	⑩	西後楽会館（霞ヶ関地区）
③	郭町 2 丁目自治会館	⑦	杉下町公民館	☒	川越小
④	三久保町会館	⑧	伊佐沼新町集会所		

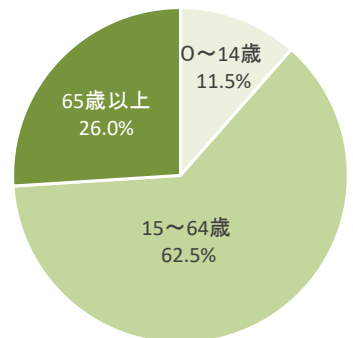


第5地区福祉プラン

本庁管内のほぼ中央に位置し、神社仏閣が多く、有名な文化財や史跡が数多く残されています。喜多院は、家康の信任が厚かった天海僧正、家光誕生の間、春日局化粧の間、正月のだるま市や春の桜まつり等で大変有名です。その他、仙波東照宮、日枝神社も国の重要文化財に指定されています。

■人口	6,935 人
■世帯数	3,154 世帯
■民生委員・児童委員数 (主任児童委員を含む)	14 人
■保健推進員数	2 人
■ボランティア団体数	3 団体
■老人クラブ数	5 クラブ
■福祉施設数	14 施設

■年齢別割合



活動目標1 地域活動を担う人材を育てよう

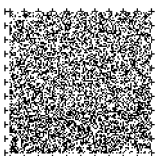
- ◇《集いの場の充実》地域の特性を生かし、交流の場を工夫していきます（文化財・高校との交流・オレンジカフェ）。
- ◇《地域での連携強化》自治会で行う活動や、さまざまな組織が行う事業を活性化するとともに、第5地区全体として情報共有する機会を設けます（地区別福祉懇談会事業）。
- ◇《担い手の発掘》ボランティア養成講座等を開催し、人材の発掘を行います。
- ◇《担い手の発掘》子どもたちに地域行事での役割を与え、楽しみながら「自分の地域」を身近に感じてもらう機会をつくります。

活動目標2 地域の交流を深めよう

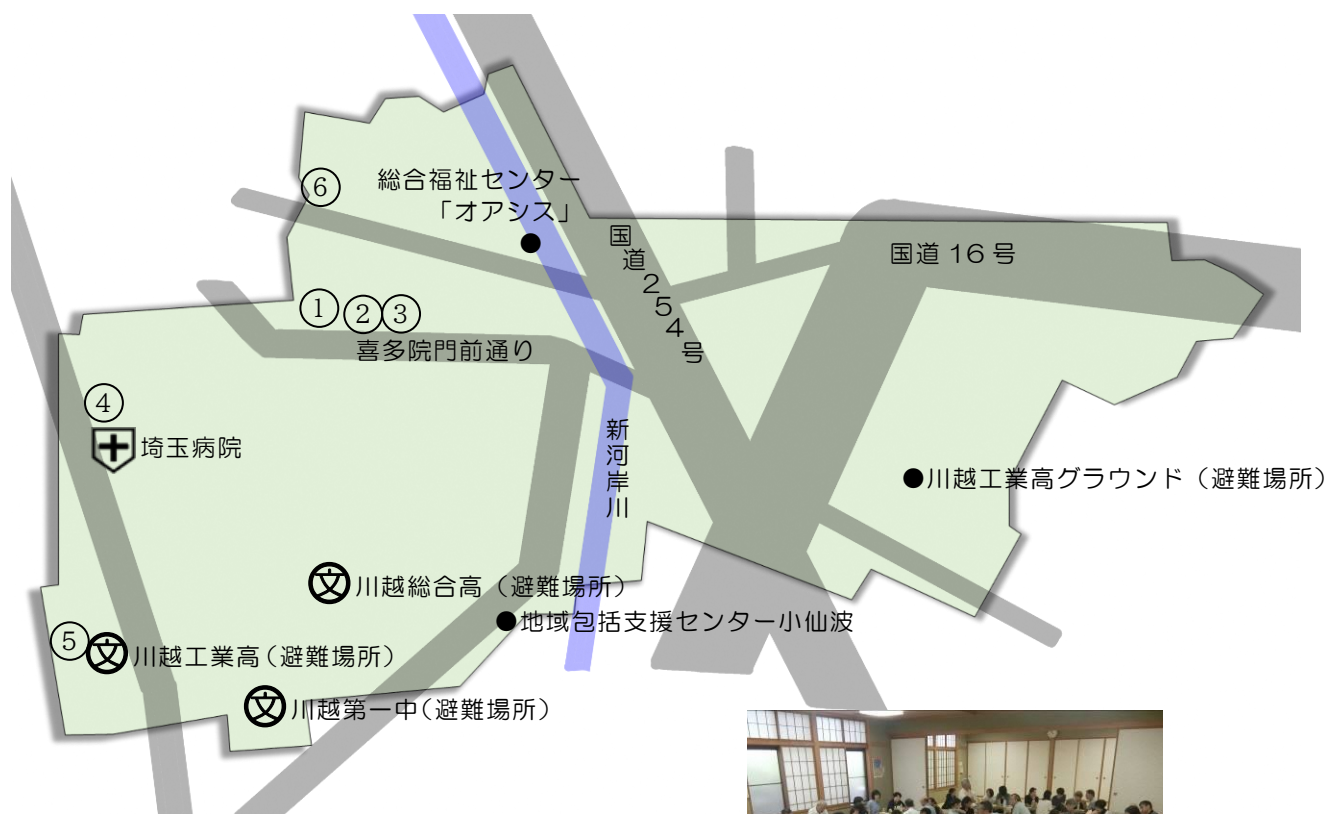
- ◇《交流の場》地域住民だれでも来て集える場を設けます。
- ◇《交流の機会》あいさつ等の声かけをしていく中で地域住民の輪を広げます。
- ◇《新たな取組》各種団体の地域行事、世代間交流の機会の設定と継続をしていきます。

活動目標3 住民が安心して暮らせる地域をつくろう

- ◇《見守りの充実》地域の見守り活動を充実させます。
- ◇《防犯活動》地域で防犯パトロールを行い、安全安心なまちづくりを行います。
- ◇《防災活動》自主防災組織を充実させ、災害に強い地域にしていきます。
- ◇《防災活動》各自治会で災害発生時の“対応”について住民に周知していきます。



地図と主な地域資源



世代間交流事業
☒ 川越第一中

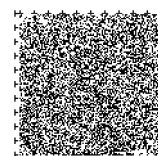


① 地区別福祉懇談会事業



①④ プラン事業（介護予防体操）

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	小仙波町自治会連合会集会所	④	西小仙波町1丁目会館	☒	川越第一中
②	小仙波町第一集会所	⑤	西小仙波町2丁目自治会館		
③	小仙波町第二集会所	⑥	朝日マンション川越集会室		

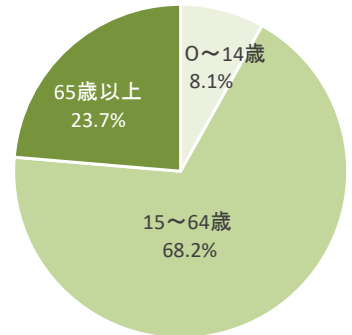


第6地区福祉プラン

東武東上線・JR川越線の川越駅と西武新宿線の本川越駅があり、川越市の表玄関ともいえるべきところです。クレアモール商店街や八幡通り商店会のにぎわいは著しいです。歴史的にも、黒門町、一番町、二番町、三番町と武家屋敷があったところで、今でもその面影が残っています。

■人口	6,447人
■世帯数	3,618世帯
■民生委員・児童委員数	11人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	3人
■ボランティア団体数	3団体
■老人クラブ数	4クラブ
■福祉施設数	7施設

■年齢別割合



活動目標1 地域の交流を進めます

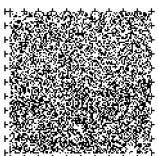
- ◇一人暮らし高齢者が集う会食会を、各自治会館等地域の拠点を活用して実施します。
- ◇自治会は一人暮らしの高齢者と育成会役員と連絡を取り合い、子どもと高齢者の交流会を行います。(第6地区世代間交流、盆踊り大会)
- ◇住民は、あいさつを心がけ、隣近所の人と顔見知りになるように心がけます。
- ◇地区社協や自治会等が行う活動は充実しているので、みんなで参加するよう心がけるとともに、参加しやすい環境づくりを構築していきます。
- ◇自治会館等を利用した交流行事に若い世代の参加を促進し、自治会活動との関わりを深めます。
- ◇地域住民は、町のイベントに参加するように隣近所の人々に声をかけをします。
- ◇定年退職した人に声をかけ、ボランティア活動に参加してもらえるよう働きかけます。
- ◇川越まつりや世代間交流事業を通じて、若い世代の参加を促進し、自治会活動との関わりを深めます。

活動目標2 一人暮らしの高齢者等、支援の必要な人を地域で支えます

- ◇災害時に避難行動を支援する必要がある高齢者や障害のある人等の把握を行います。
- ◇老人クラブ等、地域で高齢者の友達づくりの場を増やし、互いに支え合い・助け合う関係を築きます。
- ◇地区社協では、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、安否確認を行う事業を実施します(友愛訪問事業等の地区社協事業の実施)。
- ◇住民は、地域において、一人暮らし高齢者や障害のある人が困っていたら民生委員・児童委員や自治会へ相談するなど、助け合う気配りをします。
- ◇地域で開催されている、高齢者等が集まるサロン等、交流を図る場を増やし、一人暮らしの高齢者が楽しめる場を増やします。
- ◇いつまでも健康で長生きできるよう、健康体操等を仲間で行うサークル活動に参加します。
- ◇介護の悩みを話し合う機会や福祉の制度を知る機会をつくり、当事者同士が交流する機会(オレンジカフェ等)をつくりまします。
- ◇地域活動を担う住民ボランティアを自治会単位で集めます。

活動目標3 災害時に地域で支え合える体制をつくりまします

- ◇自治会は、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障害のある人の情報を把握し、災害時に避難支援を行う体制を構築するための話し合いの機会をつくりまします。
- ◇地区社協では、行政、市社協、地域包括支援センター等の福祉関係機関と協力し、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障害のある人の見守り体制を充実させまします。
- ◇地区社協は、防災・防犯に関する情報を提供し、それを受けた自治会は、住民、民生委員・児童委員、福祉関係者に向けた講座を開き、防災・防犯について話し合います。



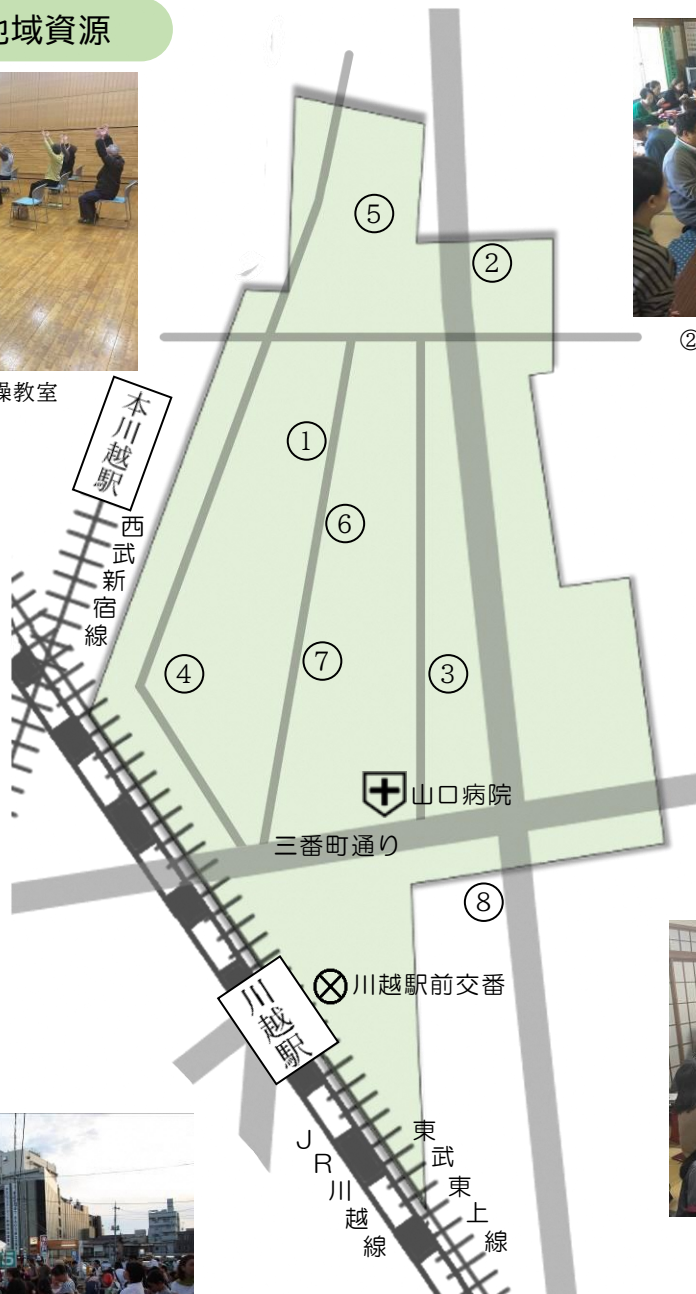
地図と主な地域資源



②④⑤⑧いもっこ体操教室



②一人暮らし高齢者集い事業

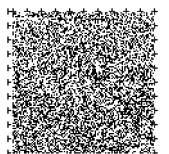


⑥福祉納涼大会



④地区別福祉懇談会事業

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	新富町会館	④	脇田町会館	⑦	クレアパーク
②	通町会館	⑤	小江戸蔵里	⑧	クラッセ川越（第7地区）
③	南通町自治会集会所	⑥	丸広百貨店川越店		

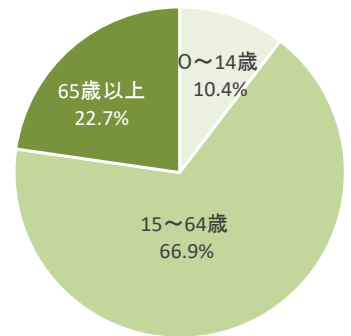


第7地区福祉プラン

川越駅の東側で商工業と農業の地域です。都市化に伴い首都圏のベッドタウンとなっています。古くは新河岸川舟運の仙波河岸があり、現在は仙波河岸史跡公園となっています。また、川越七福神の毘沙門天、寿老人のお寺、川越観音のお寺、仙波三宮の氷川神社、浅間神社、愛宕神社、そして学問の神菅原神社があり歴史と文化の香り高い地区です。

■人口	11,858 人
■世帯数	6,111 世帯
■民生委員・児童委員数	16 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	4 人
■ボランティア団体数	2 団体
■老人クラブ数	5 クラブ
■福祉施設数	18 施設

■年齢別割合

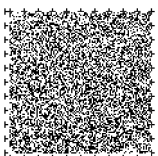


活動目標1 地域住民が交流する機会をつくろう

- ◇大人も子どもも、あらゆる機会にあいさつを心がけ、地域に顔見知りを増やします。
- ◇サークル活動や健康体操教室等の取組を活発にし、地域交流の場を確保します（自治会館、集会所、小中学校校庭・寺社境内等）。
- ◇回覧版や掲示板等で、自治会行事に多くの住民が参加するよう呼びかけます。
- ◇各種団体が連携を図り、子どもから高齢者までみんなが参加できる地域行事を行い、活性化させます（盆踊り、バーベキュー大会、豚汁大会、餅つき大会等）。
- ◇夏休み等に子どもたちが参加できる行事を工夫します。（仙波小校区⇒少年少女スポーツ大会・スポ連）。
- ◇地域の公園等子どもたちの遊び場の安全を住民が見守ります（遊具の点検等）。
- ◇自治会や育成会が実施している廃品回収を、定期的に行い、集まった資金を地区の行事等の資金にするなど目標を持った活動を活発にします。
- ◇団塊の世代の趣味を生かした取組をサークル活動等につなげます。

活動目標2 地域で協力し合いさまざまな活動の活性化につなげよう

- ◇民生委員・児童委員や保健推進員、自治会役員等は地域の見守りが必要な世帯の支援等について協力体制を強化します。また地域住民の協力を求めます。
- ◇廃品回収等の地域活動への住民参加を呼びかけ、ボランティアの募集・増員を図ります。
- ◇地域の防犯パトロール等の活動の担い手として、団塊の世代の参加を呼びかけます。



地図と主な地域資源



①～⑦いもっこ体操教室

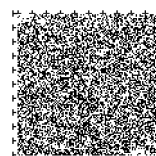


①～⑦一人暮らし高齢者集い事業



①～⑦在宅高齢者等給食サービス事業

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	菅原町自治会集会所	④	仙波会館（第一会館）	⑦	大仙波自治会館
②	仙波町1丁目集会所	⑤	仙波会館（第二会館）		
③	仙波町2丁目集会所	⑥	富士見町自治会館		

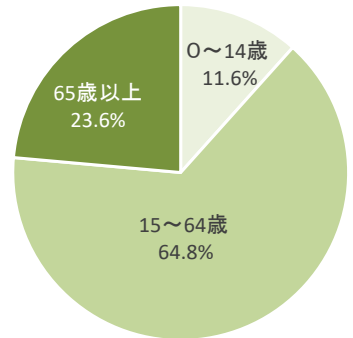


第8地区福祉プラン

市の南部、川越の玄関口である烏頭坂（うとうざか）付近の東西に位置し、仙波河岸史跡公園、岸町熊野神社、岸町健康ふれあい広場等が住民の活発な交流の場となっています。また、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、烏頭坂ステーションを拠点とした住民による自主防犯活動に取り組み、「安全・安心のまちづくり」に努めています。

■人口	8,914人
■世帯数	4,212世帯
■民生委員・児童委員数 (主任児童委員を含む)	15人
■保健推進員数	3人
■ボランティア団体数	4団体
■老人クラブ数	1クラブ
■福祉施設数	9施設

■年齢別割合



活動目標1 地域の拠点や社会資源を活用しよう

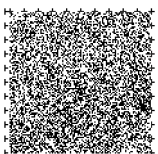
- ◇自治会のイベントとして、地域住民が知り合うための世代間交流等の行事を企画していきます。
- ◇学校等において、自治会の活動内容等を紹介するビデオを見せ、地域活動への参加意識を高めるためのPRをします。そのビデオ作成にも多くの人が関わるようにします。
- ◇地区社協事業として実施している友愛訪問事業で、民生委員・児童委員や自治会役員と子どもとのペアによる一人暮らし高齢者宅の訪問を実施します。
- ◇地区としてのサービスセンター（相談）を設置し、行政等の福祉サービスとのパイプ役を担う地域拠点を整備します。
- ◇お散歩マップ（地域包括支援センター、民生委員・児童委員にて作成）を活用し、高齢者が楽しく介護予防に取り組めるように呼びかけます。
- ◇地域活動のリーダー役である民生委員・児童委員や自治会長、保健推進員等に、福祉（認知症や精神障害等）についての研修を実施し、地域課題のフォロー体制づくりを行います。

活動目標2 あいさつができ、交流が活発な地域をつくろう

- ◇一声運動を広めていきます。町内会の催しの案内等で訪問する際には、必ずあいさつをするようにします。
- ◇子どもに対して、育成会や学校等と協力し、あいさつの大切さを率先して教えていきます。
- ◇地区社協は、烏頭坂ステーション、自治会館、神社等で地域住民が交流できる場をつくっていきます。
- ◇高齢化に伴い、年配の人が手本になって活動し、地域を充実させていきます。
- ◇各自治会は、高齢者相談所の設置（相談員は自治会役員等）や緊急時サポート体制の充実、連絡カードの作成に取り組めます。
- ◇子育てを地域でサポートしていくために、「大人の反省会」を設置します。

活動目標3 災害に備えよう

- ◇現在ある自主防災組織を生かし、災害時要支援者の支援について自治会ごとに検討を進めていきます。



地図と主な地域資源



①～③岸町3丁目いもっこ体操教室

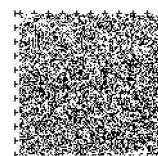


①一人暮らし高齢者集い事業



④在宅高齢者等給食サービス事業

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	岸町1丁目自治会館	③	岸町3丁目自治会集会所	④	熊野神社
②	岸町2丁目自治会館				

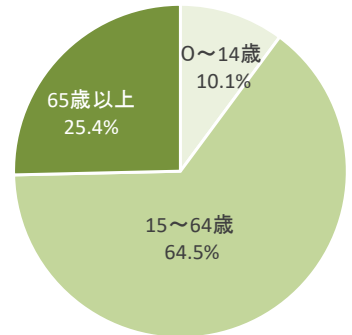


第9地区福祉プラン

川越駅西口に位置し、国道16号と西武新宿線の通る地域で、駅前には県西部地区のにぎわいを創出する複合施設のU PLACEや多くの高層ビル等が立ち並んでいます。また、周辺には昔、陸軍大演習の際に、大正天皇がお立ち寄りになった「御野立の森公園」などがあります。平成13年には、旭町3丁目の山車に乗せる「松平信綱」の人形が完成し、川越まつりではその雄姿を見ることができます。

■人口	11,670人
■世帯数	5,968世帯
■民生委員・児童委員数	17人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	4人
■ボランティア団体数	8団体
■老人クラブ数	4クラブ
■福祉施設数	17施設

■年齢別割合



活動目標1 声かけや呼びかけを通じて地域のつながりを深めよう

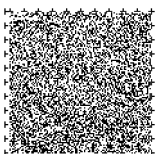
- ◇子どもや大人が地域であいさつするように、日々の暮らしの中で声かけを意識していきます。
- ◇見やすい回覧板の作成、関心の持てるイベントの開催、意欲をかき立てる内容のPR等、地域住民への呼びかけを工夫します。
- ◇高齢者に限らず、地域の人が交流できる場所(自治会館や公園等)を増やしていきます。

活動目標2 地域の見守り活動を推進する体制づくりを行います

- ◇老人会や育成会などの団体や自治会等が中心となり、高齢者や子どもたちが参加しやすい行事等を企画していきます(川越まつりや文化祭、特技を生かした集まりやサロン、いきいき健康体操や一人暮らし高齢者の集い等)。
- ◇自治会役員等が中心となり、パトロール等を行いながら見守り活動を実施します。状況に応じて、見守りをしながら高齢者の話し相手になります。
- ◇ボランティアグループが活動を継続していけるよう、地域で支援していきます。また、地域内でボランティアのリーダーを育成します。

活動目標3 災害に備える取組を充実させよう

- ◇自主防災組織の取組等を充実させます。
- ◇防災訓練等への参加を住民に働きかけ、地域の協力体制づくりを行い、災害時の避難の際に、一人も見逃さないよう声かけなどの取組を行います。
- ◇自治会等地域の各種団体は、災害時の援助や日常の見守り活動等のために、一人暮らし高齢者本人の同意に基づいた情報(支援者カード)を共有し、連携を図り活動します。



地図と主な地域資源



②④～⑦おしゃべりサロン



②一人暮らし高齢者集い事業

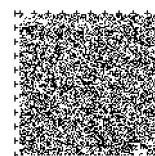


⑧芋掘り事業



⑦世代間交流事業（夏祭り）

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	旭町1丁目自治会集会所	④	広栄町自治会集会所	⑦	脇田本町公園
②	旭町2丁目公民館	⑤	脇田新町公民館	⑧	山田園（福原地区）
③	旭町3丁目自治会集会所	⑥	脇田本町自治会館		

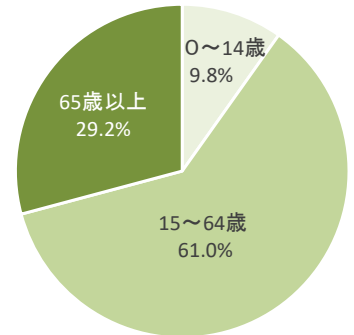


第 10 地区福祉プラン

本庁管内のほぼ中央に位置し、中央通り商店街や本川越駅前の繁華街を有し、駅に近い利便性から、大きな分譲マンションやワンルームマンションが多く、「都心に通うサラリーマンの街」としての一面もあります。川越まつりでは、昔から名高い六軒町の山車等3台の山車が繰り出して伝統を今に伝えています。

■人口	9,132 人
■世帯数	4,821 世帯
■民生委員・児童委員数 (主任児童委員を含む)	18 人
■保健推進員数	3 人
■ボランティア団体数	8 団体
■老人クラブ数	7 クラブ
■福祉施設数	10 施設

■年齢別割合



活動目標 1 地域のつながりを深めよう

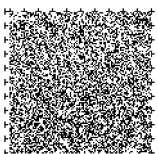
- ◇民生委員・児童委員を中心に各団体の長に対して、要支援者の支援を高めましょう。
- ◇高齢者の参加の場合（健康体操、介護予防体操、ラジオ体操、オレンジカフェ等）で交流を深めながら、健康を維持する活動に参加しましょう。

活動目標 2 世代を超えた地域の課題に取り組もう

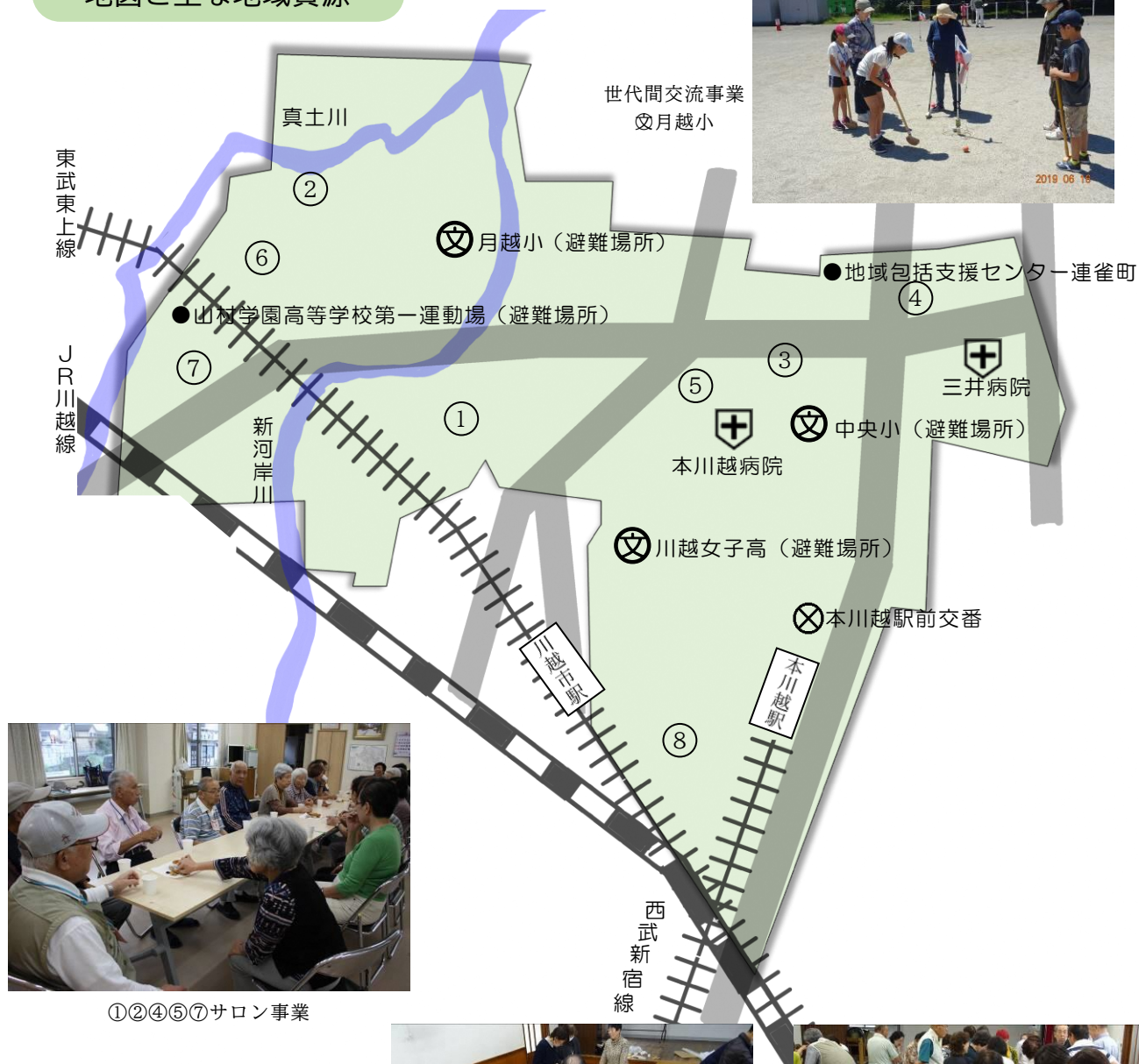
- ◇第 10 地区全体の地図を把握し、災害時の認識に気づいている各自治会の情報を共有しましょう。
- ◇自治会・民生委員・児童委員・福祉協力員・育成会の連携を深め、体制づくりをすすめましょう。
- ◇高齢者や子どもたちも含めて、サークル活動（お祭りのお囃子、お餅つき、盆踊り、フラダンス）を通じての世代間交流をしましょう。
- ◇福祉協力員の輪を広げ、資質の向上を図り、協力体制を整えましょう。

活動目標 3 災害時の命を守るための地域支援体制をつくろう

- ◇地域の協力、パトロールを通じて、自主防災組織の取組を行っていきましょう。
- ◇災害時のマップを活用して、緊急時の避難場所の情報を周知しましょう。
- ◇自治会ごとに連絡網を作り、体制を整えましょう。



地図と主な地域資源



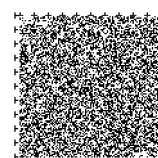
①②④⑤⑦サロン事業



⑤福祉協力員等事業(災害マップ作り)



No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	三光町公民館	④	連雀町自治会館	⑦	野田月吉町集会所
②	月吉町集会所	⑤	六軒町自治連集会所	⑧	パークファミリア集会室
③	中原町自治会館	⑥	月吉町事業団自治会集会所	⑨	月越小

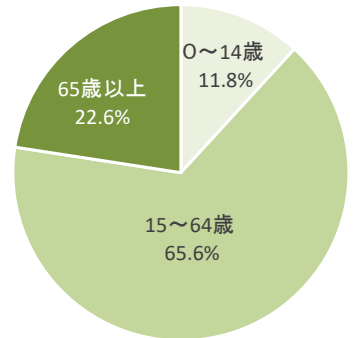


第 11 地区福祉プラン

本庁管内の南部に位置しています。東武東上線及び旧国鉄川越線の開通に伴って農業地域から住宅地へ急速に姿が変わりました。現在は自治会の垣根を超えた活動が盛んに行われています。

■人口	11,838 人
■世帯数	5,760 世帯
■民生委員・児童委員数	19 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	4 人
■ボランティア団体数	5 団体
■老人クラブ数	4 クラブ
■福祉施設数	11 施設

■年齢別割合



活動目標 1 『ふれあい』交流、友好

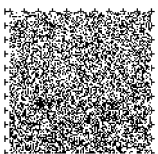
- ◇「地域ふれあいまつり」の継続開催。
- ◇集いの場(いもっこ体操、つどい新宿町等)の拡充。
- ◇集会施設や公園の整備、活用。
- ◇官民の境界を超えた町(地域)ぐるみの交流。

活動目標 2 『支え合い』互助共助、組織化

- ◇自治会や地域活動団体(子ども会育成会、中学連絡会、老人クラブ、自主防災会等)の充実発展。
- ◇シニア向け屋内軽競技やミドルシニア層交流会など、新たな娯楽や心身健康の取組創出。

活動目標 3 『助け合い』奉仕活動、防犯防災、人材育成

- ◇将来の超高齢化へ向け、日常の簡単な手助けが気軽に出来る緩やかな見守り、「福祉協力員」体制を地域で構築し、人材を増やす。
- ◇「地域ふれあいまつり」で生まれた、青少年ボランティアの更なる発展を図り、優しい気持ちを地域で認め伸ばす仕組みへと拡げる。



地図と主な地域資源

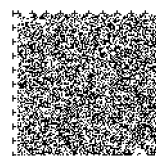


④ ゴゴサロン



①～⑤⑨つどい新宿町

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	新宿町 2 丁目自治会集会所	④	新宿町 5 丁目自治会集会所	⑦	ホームステーションらいふ川越
②	新宿町 3 丁目自治会集会所	⑤	新宿町 6 丁目自治会館	⑧	グループホームみんなの家・川越新宿
③	新宿町 4 丁目自治会集会所	⑥	メイツ川越集会所	⑨	雀の森氷川神社

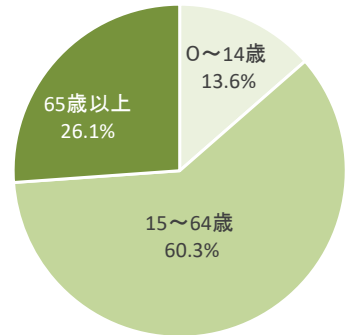


芳野地区福祉プラン

市の北東部に位置し、地区の北東には入間川が流れています。全域が豊かな農業地域である一方で、地区北部にある川越工業団地は本市の工業集積の拠点となっています。また、古谷地区との境には市民の憩いの場である伊佐沼公園や川越運動公園が整備されています。

■人口	5,584 人
■世帯数	2,256 世帯
■民生委員・児童委員数	9 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	2 人
■ボランティア団体数	4 団体
■老人クラブ数	0 クラブ
■福祉施設数	9 施設

■年齢別割合



活動目標 1 参加しやすい交流の場を増やしましょう

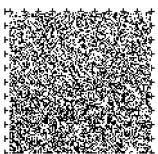
- ◇幅広い世代間の交流を深めます。
- ◇地域の人々誰もが参加できる交流の場を工夫し、広めます。
- ◇お互いの人権を認め、思いやりある地域づくりを推めます。
- ◇地域行事や地域福祉への関心を高めるため、広報啓発の充実に努めます。

活動目標 2 地域みんなで支え合いましょう

- ◇さまざまな年代を見守り、支援していく活動をさらに進めていきます。
- ◇地域活動の担い手としてボランティアの育成に努めます。
- ◇地域のネットワークづくりに努め、地域の支え合いの仕組みをつくり、地域の課題解決に取り組みます。
- ◇寄り添い、支え合う取組を支援します。

活動目標 3 安心・安全に暮らせる地域づくりをしましょう

- ◇災害に備えた取組を推進します。
- ◇健康で明るい生活を送るために、健康の維持・増進に努めます。
- ◇さまざまな困り事を相談できる体制を整えます。
- ◇安全・安心に暮らすための情報提供に努めます。



地図と主な地域資源



①～⑥⑨～⑱世代間交流事業



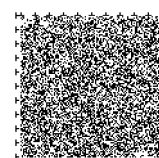
寺子屋

●芳野公民館

一人暮らし高齢者集い事業

●芳野公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	北田島自治会センター	⑧	石田本郷公民館折戸集会所	⑮	大下公民館
②	谷中集落センター	⑨	石田本郷新田自治会公民館	⑯	伊佐沼公民館
③	菅間上集会所	⑩	西門集会所	⑰	鹿飼公民館
④	菅間中公民館	⑪	市場集会所	⑱	上老袋公民館
⑤	菅間下集会所	⑫	鍛冶屋敷公民館	⑲	中老袋自治会館
⑥	石田本郷集会所	⑬	鴨田中内路集会所	●	芳野公民館
⑦	公民館分館（観音堂）	⑭	山田集会所		

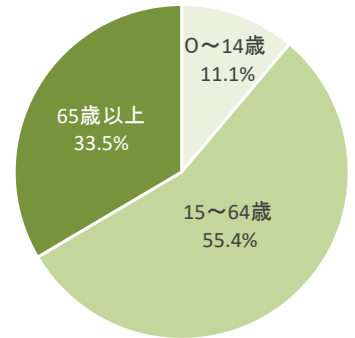


古谷地区福祉プラン

市の東部に位置しています。ほぼ全域にわたり、豊かな自然環境・田園風景が残っていますが、近年は開発が進み宅地化されてきています。高齢化が進み、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯も多くなっています。

■人口	10,397 人
■世帯数	4,436 世帯
■民生委員・児童委員数	15 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	3 人
■ボランティア団体数	12 団体
■老人クラブ数	1 クラブ
■福祉施設数	17 施設

■年齢別割合



活動目標 1 人と人とのつながりを深めみんなで支えあえる地域にしよう

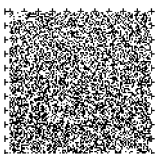
- ◇古谷支会や各種団体等が中心となり、大勢の地域住民に参加してもらえるよう、魅力ある活動を展開する。
- ◇日頃から隣近所とのコミュニケーションを良好にし、特に高齢者の方や障害のある方にも参加してもらえるよう、積極的かつ継続的に呼びかけを行う。
- ◇一人暮らしの高齢者やひとり親世帯等、支援が必要な方には、古谷支会や各種団体等が中心となり、積極的な支援を行う。
- ◇高齢者に対し健康体操・各種セミナーなどの開催を古谷支会や各種団体の協力のもと地域全体へ拡大できるよう努める。
- ◇地域の福祉活動について広報誌・公民館だより・ホームページ・SNSなどにより積極的な情報発信に努める。

活動目標 2 古谷地区として地域の特性を生かした魅力ある事業活動を展開しよう

- ◇地域のイベントについて積極的に協力者を募り、充実した事業になるよう取り組んでいく。
- ◇横断的なボランティアネットワークづくりに努め、共に地域の高齢者や子どもたちのための取組を行う。
- ◇時代の変化、特に地域の高齢化に対応した事業やイベントを協力して考えていく。
- ◇地域の高齢者や子どもたちの交流事業について、本地域の伝統的な取組を含め、積極的に取り組んでいく。

活動目標 3 誰もがいきいきと楽しく安全に暮らせる地域にしよう

- ◇学校と地域との情報共有を図りながら、見守り活動の強化充実に努め、子どもたちが安心して外で遊べる地域にする。
- ◇交通安全協会古谷支部、交通安全母の会古谷支部等の協力のもと、特に高齢者や子どもの交通事故を防止するよう取り組んでいく。
- ◇台風や集中豪雨・地震等、災害発生時の被害を最小限にできるよう地域の防災避難対策を行う。
- ◇災害発生時や緊急時のために、一人暮らしの高齢者や障害のある人に避難誘導ができる体制づくりを行う。



地図と主な地域資源



⑮ふれあい食堂（子ども食堂）



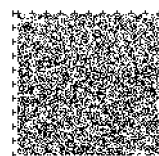
サマースクール
●古谷公民館



在宅高齢者等給食サービス事業
●古谷公民館



No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	二ノ関公民館	⑨	古谷本郷上組農民センター	⑰	東本宿自治会館
②	沼端公民館	⑩	古谷本郷下公民館	⑱	川越グリーンパーク管理センター
③	宿自治会集会所	⑪	小中居公民館	⑲	コスモ川越ワンダーランド(集会室を借用)
④	堀の内公民館	⑫	大中居集会所	⑳	県営小中居住宅集会所
⑤	古川端公民館	⑬	高島集会所	㉑	グリーンフィールド自治会館
⑥	黒須公民館	⑭	ハツ島集会所	●	古谷公民館
⑦	蔵根公民館	⑮	下老袋農民センター	●	教育センター
⑧	古谷本郷上組千手堂公民館	⑯	下老袋自治会集会所植木会館		

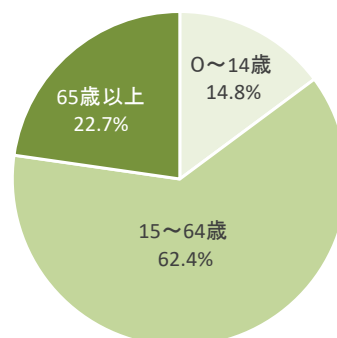


南古谷地区福祉プラン

J R 川越線南古谷駅があり、東はさいたま市、南はふじみ野市に隣接しています。駅近くにショッピングセンターや住宅、マンションが建設されて以来、各地に住宅が建ち著しく人口が増加しています。しかしながら、豊かな自然環境が残っており、四季を通じて美しい田園風景が楽しめる地域です。

■人口	25,134 人
■世帯数	10,581 世帯
■民生委員・児童委員数	28 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	7 人
■ボランティア団体数	18 団体
■老人クラブ数	6 クラブ
■福祉施設数	25 施設

■年齢別割合



活動目標1 広げよう 世代をこえた地域の輪

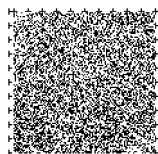
- ◇民生委員・児童委員、自治会役員、地区社協役員等の地域のリーダー役となる人は、住みやすい地域をつくるための意識を持ち、継続的に誰にでも進んで声をかけるなど「あいさつ運動」を広めていきます。
- ◇いきいきサロン、会食会、健康体操、世代間交流会等の交流行事を継続します。また、福祉施設等の専門職の定期的な参加を呼びかけ、要支援者の早期発見、介護予防の学習会などに取り組んでいきます。
- ◇地域の自治会や団体の活動内容を広く地域住民に知らせるために、「社協ニュース」や「南古谷コミュニティ」「ときめき情報局」等世代を超えた広報の充実やチラシ等、周知方法の充実を図っていきます。
- ◇すでに実施している子どもを核にした行事や活動に、高齢者を巻き込むようにしていくことで現在の取組を充実させ、さらに子どもたちのあそび場としての広場の開設を目指します。

活動目標2 つながりつくろう 地域の縁

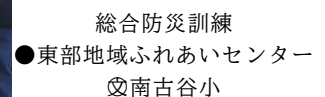
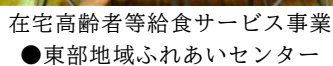
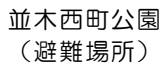
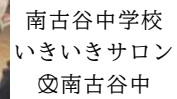
- ◇高齢者の見守りを配食サービスや民生委員・児童委員による訪問だけでなく、自治会単位でも行うため、ボランティア（福祉協力員）の養成・増員に努め、見守り体制を整備します。
- ◇地域の施設や学校等のスペースを開放していただき、高齢者と子どもだれもがふれあう機会を増やすよう促します。
- ◇より多くの高齢者が地域活動に参加できるよう、近所の人々が事業への参加を積極的、継続的に呼びかけていきます。

活動目標3 みんなでぼうさい 守る命

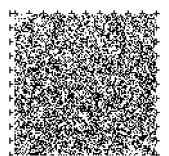
- ◇子どもたちの安全を図るため、PTA、育成会は見守り体制を組みます。必要に応じて、民生委員・児童委員へ相談し、行政や警察とも連携を図ります。
- ◇高齢者への見守りを充実させ、訪問時には災害や防犯等の注意を呼びかけます。各自治会も、個別に訪問し注意を呼びかけ、必要に応じて行政や警察と連携を図ります。
- ◇市の避難行動要支援者避難支援制度を踏まえ、災害時に地域で具体的にどのような支援を行っていくのか検討し、また、タイムラインの作成と活用についても検討し、地域の防災力を高めます。



地図と主な地域資源



No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	南田島公民館	⑪	渋井自治会公民館	㉑	アステール川越（集会室を借用）
②	牛子公民館	⑫	古市場公民館	㉒	県営久下戸住宅集会所
③	木野目自治会館	⑬	さくら堤自治会館	㉓	川越ホームスミスショウ
④	並木自治会館	⑭	わかば台自治会集会所	㉔	特別養護老人ホームやすらーじゅ
⑤	並木西町自治会館	⑮	川越ハイツ自治会集会所	●	東部地域ふれあいセンター
⑥	今泉公民館	⑯	木野目藤木自治会集会所	●	南古谷公民館
⑦	上久下戸集会所	⑰	南古谷団地集会所	㊦	南古谷小学校
⑧	下久下戸公民館	⑱	あゆみ自治会集会所	㊦	牛子小学校
⑨	宮本自治会集会所	⑲	レーバンスクエアコンセルティエ集会所	㊦	南古谷中学校
⑩	萱沼公民館	㉑	県営今泉団地自治会集会所		

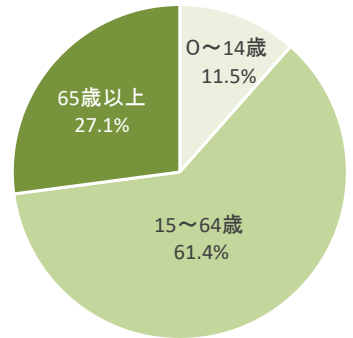


高階地区福祉プラン

市の南南東に位置し、ふじみ野市に接し、東武東上線や国道 254 号を介して東京方面につながる地域です。戦後の経済発展に伴い東武東上線沿線に多くの住宅や大型マンションが建設され、人口が 5 万人を超える大きな地域となっています。

■人口	53,267 人
■世帯数	25,431 世帯
■民生委員・児童委員数	72 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	16 人
■ボランティア団体数	32 団体
■老人クラブ数	18 クラブ
■福祉施設数	40 施設

■年齢別割合



活動目標 1 地域福祉への関心を高め、地域活動と一緒にできる体制をつくろう

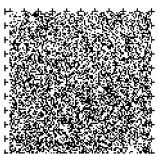
- ◇地域の福祉協力員（ボランティア）として一緒に活動できる体制をつくりま
- ◇子どもから高齢者まで気軽に集まれる場づくりを進めていきます。
- ◇あいさつ運動や声かけを推進します。
- ◇地域行事や様々な情報が住民に届くように広報啓発を工夫していきます。

活動目標 2 地域のつながりを深め、福祉協力員等ボランティアの育成を図ろう

- ◇自治会、民生委員・児童委員、各種団体等との連携を図るため、情報交換ができるネットワークづくりをします。
- ◇見守り、居場所づくり、地域行事等に協力できるボランティアを発掘し、育成して

活動目標 3 地域の変化に対応し、見守りの充実を図ろう

- ◇地域で安心して暮らせるよう、地域での見守りをさらに充実していきます。
- ◇自主防災組織の取組を充実させます。
- ◇同じ地域に住む者同士、協力し助け合えるまちづくりを推進します。



地図と主な地域資源



①②④～⑥⑧⑨⑪～⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓
介護予防体操



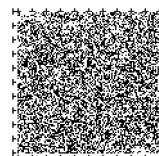
①⑥⑧⑯⑱地区別福祉懇談会事業



③⑤⑦⑧⑲⑳㉑㉒㉓一人暮らし高齢者集い事業



No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	藤間文化会館	⑩	砂新田2丁目自治会集会所	⑲	新河岸自治会館
②	藤間南集会所	⑪	砂新田3丁目自治会集会所	⑳	藤間東自治会館
③	藤原記念館	⑫	砂新田下自治会館	㉑	下松原鶴見野自治会集会所
④	富士ヶ丘公民館	⑬	砂新田南自治会集会所	㉒	稲荷町集会所
⑤	熊野町自治会館	⑭	武蔵野自治会館	㉓	諏訪町集会所
⑥	清水町集会所	⑮	五ツ又自治会館	㉔	南文化会館(福原地区)
⑦	富士見自治会館	⑯	砂自治会館	●	高階公民館
⑧	寺尾公民館	⑰	高砂会館		
⑨	砂新田1丁目自治会館	⑱	高砂会館和室		

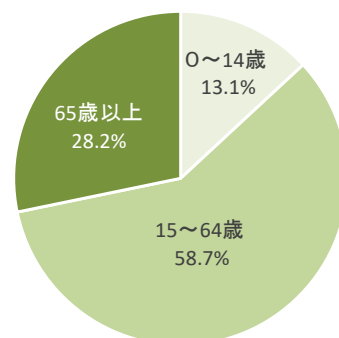


福原地区福祉プラン

市南部に位置し、面積が大きく、緑地も多い地区です。市内でも有数の農業生産地域であり、現在も多くの都市近郊専業農家が活躍しています。2～3世代で農業等を行う世帯が多い一方、近年は、新興住宅もつくられベッドタウンとしての機能も合わせもっています。

■人口	20,720 人
■世帯数	8,709 世帯
■民生委員・児童委員数	28 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	6 人
■ボランティア団体数	8 団体
■老人クラブ数	0 クラブ
■福祉施設数	24 施設

■年齢別割合



活動目標1 福祉のまちづくりを推進します

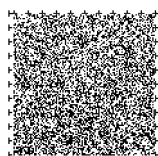
- ◇地区内にある医療・福祉施設、行政機関、民生委員・児童委員協議会、各自治会の連携を図るための組織である「福原地区福祉ネットワーク会議」を充実し、包括的な支援体制の構築を図るとともに、福祉に関する様々な情報の収集と提供に努めます。
- ◇介護予防サービスや在宅福祉サービス等の社会福祉資源の活用を促進するため、地域包括支援センターを中心に、研修会等の開催や様々な機会をとらえて相談に応じることにより、福祉に関する情報の収集と提供に努めます。
- ◇世代間交流の場として、福原支会、各自治会は子どもから高齢者までが参加できる行事を開催し、子育て世帯や孤立しがちな高齢者、障害者などが気軽に参加できるよう促します。(グラウンドゴルフ・体育祭・ふくはらまつり・高齢者の集い)。
- ◇各自治会は、地域交流を促進するため地区行事を充実するとともに、ラジオ体操、いもっこ体操の普及に努めます。

活動目標2 心豊かな地域をつくりまします

- ◇福祉に関する行政機関や社会福祉協議会が行う講座や研修会に積極的に参加することにより、ボランティア活動のキーパーソンとなる人材を育成します。
- ◇市民センターや公民館を地区ボランティアセンターとして機能を充実させ、各自治会は自治会館等を福祉活動に積極的に提供することにより、自治会館の有効活用を図ります。
- ◇民生委員・児童委員、自治会が協力して、一人暮らし高齢者等の把握に努め、近隣住民の挨拶や声かけなどの協力を得ながら、地区内で見守り体制の構築を図るよう努めます。
- ◇地域包括支援センターを中心に、福祉・医療施設と連携して、福祉マップ等の作成を行うなど、住民への情報提供を拡充するとともに、新たな支援体制、連携のあり方について検討します。

活動目標3 災害時に助け合える地域にします

- ◇市の行う防災訓練や研修会への積極的な参加を促進し、防災に関する情報提供に努めます。
- ◇各自治会は災害時要支援者の把握と支援方法の検討を行い、災害時に避難支援が適切に行える体制づくりに努めます。また、災害時要支援者を把握するため市との協定締結を促進します。
- ◇大規模災害時における身近な避難所として、自治会館の活用を検討します。



地図と主な地域資源



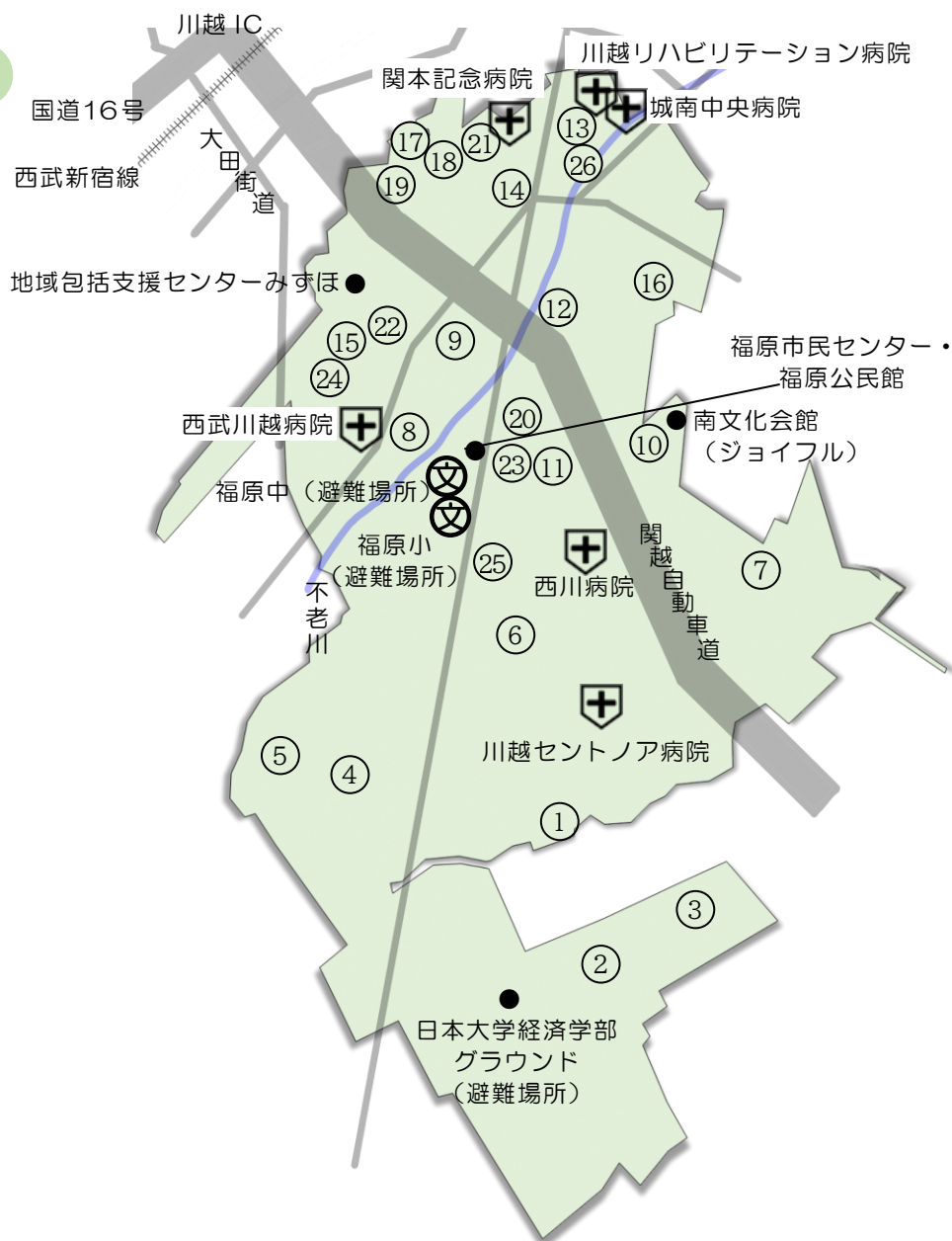
②④健康サロン in ウェルカフェ



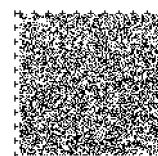
一人暮らし高齢者集い事業
●南文化会館（ジョイフル）



②寺子屋



No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	下赤坂公民館	⑪	今福原第2団地集会所	②①	メゾンむさし野自治会集会所
②	大野原公民館	⑫	霞町自治会集会所	②②	今福北自治会集会所
③	武蔵町会館	⑬	中台元町自治会集会所	②③	今福団地集会所
④	中福南北自治会館	⑭	中台自治会集会所	②④	特別養護老人ホームみどりのまち親愛
⑤	中福南・北第2自治会館	⑮	中台南自治会館	②⑤	いるま野農業協同組合 福原支店
⑥	上松原公民館	⑯	砂久保公民館	②⑥	学校法人医学アカデミー内カフェローレル
⑦	下松原自治会館	⑰	今福住宅自治会集会所	●	南文化会館（ジョイフル）
⑧	今福上集会所	⑱	田園ハイツ川越集会所	●	福原公民館
⑨	今福下自治会集会所	⑲	中台つつじヶ丘自治会集会所		
⑩	今福原自治会館	⑳	スカイハイツ自治会集会所		

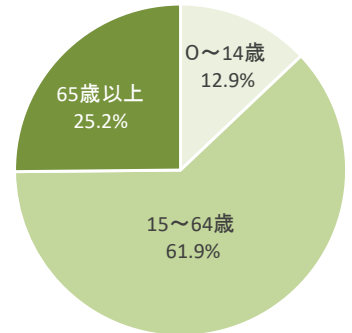


大東地区福祉プラン

市の南西部に位置し、昭和41年に川越狭山工業団地の誘致、昭和46年に関越自動車道の開通、昭和63年に川越総合卸売市場の開設などにより農業地域から商工業地域へと大きく変貌しました。また、住宅団地が造成され、首都圏のベッドタウンとして、人口が増加傾向にある地区です。

■人口	35,223人
■世帯数	15,600世帯
■民生委員・児童委員数	44人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	10人
■ボランティア団体数	18団体
■老人クラブ数	8クラブ
■福祉施設数	32施設

■年齢別割合



活動目標1 地域住民のつながりを深めよう

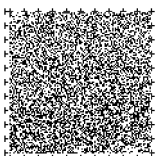
- ◇地域住民が気軽に集える場所をつくります。
- ◇地域住民同士が日頃から交流の機会を持てるよう、回覧板をなるべく手渡すようにし、隣同士での声かけや、日頃のあいさつ運動などを推進していきます。
- ◇障害者との地域交流を目的とした行事を検討していきます。

活動目標2 地域で行う行事や防災訓練・福祉活動に参加しよう

- ◇地域活動（地区社協活動など）への協力者を育てます。
- ◇各自主防災組織は、地域の情報（避難時危険箇所、要支援者情報など）を日常から把握・共有して定期的に見直しを図ります。また、大東地区自主防災連絡会が開催する広域防災訓練に積極的に参加し、災害時は近隣自治会と連携して地域住民の安全確保を図ります。
- ◇登下校、休日の折に子どもを見守るなど、子どもサポート活動を広げることを心がけます。

活動目標3 地域での見守り体制を充実させよう

- ◇見守り活動を充実させます。
- ◇高齢者の地域活動への参加を推進します。
- ◇地域に関係のある様々な情報が住民に届くよう工夫していきます。



地図と主な地域資源



地区別福祉懇談会事業 ●大東市民センター

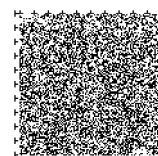


②大東ふれあいマラソン&ウォークソン大会



大東ふれあい音楽祭 ●大東市民センター

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	南大塚自治会集会所 (菅原神社)	⑨	池辺公民館	⑰	増形集会所
②	緑向会館	⑩	大袋集会所	⑱	南台自治会館
③	大塚新田公民館	⑪	山城自治会集会所	⑲	日東町自治会館
④	大塚新田稲荷窪自治会館	⑫	高橋公民館	⑳	川越総合卸売市場
⑤	寿町1丁目自治会集会所	⑬	大袋新田自治会館	●	大東南公民館
⑥	寿団地集会所	⑭	かし野台自治会館	●	大東市民センター
⑦	豊田町集会所	⑮	藤倉自治会館		
⑧	豊田本公民館	⑯	猪鼻自治会館		

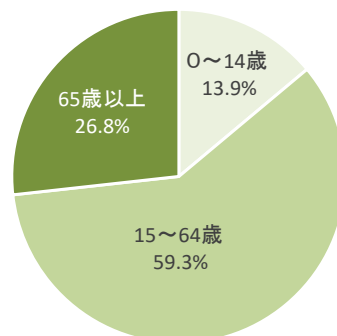


霞ヶ関地区福祉プラン

市の西部に位置し、入間川、南小畔川・北小畔川に挟まれた東西に細長い地域で、縄文前後の遺跡が多数残されています。戦後は、首都圏のベッドタウンとしての大型住宅団地の造成、大学や工場誘致によって、人口が急増しました。一部地域が、昭和40年代に霞ヶ関北支会に、平成6年に川鶴支会に分離しました。

■人口	32,510人
■世帯数	14,125世帯
■民生委員・児童委員数	41人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	9人
■ボランティア団体数	19団体
■老人クラブ数	6クラブ
■福祉施設数	47施設

■年齢別割合



活動目標1 地域のことをもっと知ろう

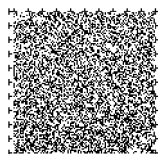
- ◇あいさつや声かけをとおした地域参加を推進していきます。
- ◇地域住民が適切に地域内の各種情報の取得や選択ができるよう、情報発信方法等の工夫を進めます。
- ◇地域講演会を開催し、地域に関する情報を直接伝える機会を設けます。

活動目標2 出会い、語り合い、ふれあいを増やそう

- ◇各種団体と協力して種々の行事等を支援し、地域内の出会い、語り合い、ふれあいの機会を確保します。
- ◇若者、高齢者、要支援者、支援者又は地域団体等の多様な主体の結びつきや協力の機会を増やします。
- ◇困ったときの身近な相談窓口の案内方法を工夫し、活用の促進を図ります。

活動目標3 まちの安全、私の安心を地域でつくろう

- ◇現行の体制を基盤として、見守り（子どもや要支援者等）体制や緊急時の応急体制の充実を図ります。
- ◇見守りや応急時の対応等の取組が確実なものとなるよう、見守り対象エリアや対象者等の情報の適切な把握・整理を進めます。
- ◇安心安全な地域づくりが円滑で、持続的なものとなるよう、新たな担い手の確保や育成を進めます。また、防災訓練等の生活に密接した取組を通して、住民同士の役割分担や協力体制づくりを進めます。
- ◇不安の少ない暮らしづくりに向け、地域会議等を活用して広く地域全体で検討・改善等を進めます。



地図と主な地域資源



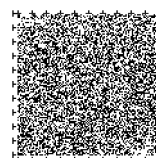
③的上ほのぼの料理クラブ



地域福祉部会
●霞ヶ関公民館

ぎんれい
●霞ヶ関公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	的場下組自治会館	⑩	西部自治会館	⑲	フラワリー集会所
②	的場中組自治会館	⑪	大笠自治会館	⑳	日高台・笠幡台自治会館
③	的場上組自治会館	⑫	上野公会堂	㉑	笠幡グリーンパーク集会所
④	安比奈新田公民館	⑬	倉ヶ谷戸自治会館	㉒	笠幡グリーンパーク会館
⑤	大町自治会館	⑭	グリーンタウン自治会館	㉓	的場1・2丁目自治会館
⑥	芳地戸自治会館	⑮	山伝公会堂	㉔	花の街集会所
⑦	新町自治会館	⑯	山伝南自治会館	●	霞ヶ関公民館
⑧	本町自治会館	⑰	水久保自治会館		
⑨	協栄自治会館	⑱	かすみ野自治会館		

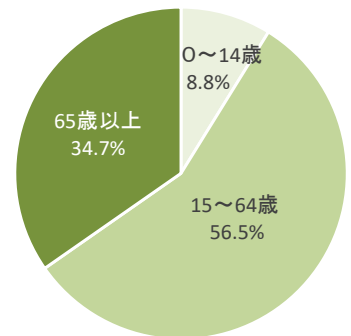


霞ヶ関北地区福祉プラン

霞ヶ関北地区は、市の西部に位置し、西は小畔川・東は入間川に囲まれた地域です。昭和 41 年霞ヶ関第二出張所（現在の霞ヶ関北市民センター）の開設に伴い6自治会が設立されたことに始まります。その後周辺の土地開発が進み現在は霞ヶ関北支会 14 自治会で構成しています。

■人口	16,866 人
■世帯数	8,016 世帯
■民生委員・児童委員数	28 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	5 人
■ボランティア団体数	27 団体
■老人クラブ数	2 クラブ
■福祉施設数	6 施設

■年齢別割合



活動目標 1 笑顔があふれる地域にしよう

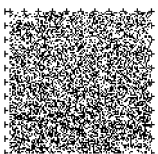
- ◇希薄になりがちな隣近所へのあいさつや声かけ運動を推進し、顔見知りの方を増やしていきます。
- ◇日常の何気ない見守りとして、雨戸が開いているか、新聞がたまっていないか確認します。
- ◇介護予防や健康づくりの一環として地域で実施している「体操教室」などに参加するよう呼びかけを行います。

活動目標 2 生活の輪をひろげよう

- ◇地域の担い手となる福祉協力員を育成するため、講座や勉強会等を開催します。
- ◇高齢者や障害者が気軽に自治会活動や地区社協活動等に参加できるよう、声かけに努めます。
- ◇ふれあいサロンやおしゃべり会等を開催し、認知症への理解を深めるとともに、認知症サポーターの増員に努めます。

活動目標 3 だれもが安心して暮らせる地域を作ろう

- ◇防犯についての講演会等を開催し、一人も見逃さないよう自助・共助を進め、地域住民の安全確保に努めます。
- ◇各自治会の自主防犯組織の情報を交換し、より良い組織づくりに努めます。
- ◇犯罪を防止するため、各自治会は情報の共有に努めます。
- ◇災害時の避難体制を構築するため、年に2回、各自治会で避難訓練を行います。



地図と主な地域資源



⑬和もの作り

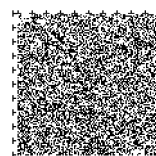


一人暮らし高齢者集い事業
●霞ヶ関北公民館



地域ふれあいまつり
●霞ヶ関北公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	霞ヶ関北自治会館	⑥	的場初雁自治会集会所	⑪	伊勢原町4丁目自治会館
②	東急ニュータウン自治会館	⑦	伊勢原町1丁目自治会集会所	⑫	リバーサイド一番街管理事務所
③	霞ヶ関東自治会館	⑧	伊勢原町2丁目自治会館	⑬	県営川越いせはら団地自治会集会所
④	霞ヶ関西自治会館	⑨	伊勢原町3丁目自治会館	⑭	コミュニティサロンかすみ草
⑤	みなみ自治会集会所	⑩	グリーンコモンズ川越集会所	●	霞ヶ関北公民館

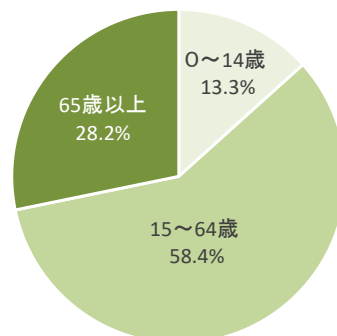


名細地区福祉プラン

名細地区は市の北西部に位置し、「名細」の名前の由来については、「美しい(=細)土地(=名)」を意味する枕詞から来ていると言われています。地域内には、国指定の史跡「河越館跡(常楽寺)」や市指定の無形民俗文化財「鯨井の万作」等があります。平成22年には、小畔川沿いに「資源化センター」が完成し、平成24年になぐわし公園温水利用型健康運動施設「ピコア」がオープンするなど、地域のさらなる発展が期待されています。

■人口	29,905 人
■世帯数	13,687 世帯
■民生委員・児童委員数	43 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	9 人
■ボランティア団体数	18 団体
■老人クラブ数	10 クラブ
■福祉施設数	41 施設

■年齢別割合



活動目標 1 だれもが参加できる交流の場をつくろう

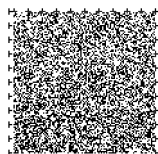
- ◇自治会や地区社協等が実施するイベント等に参加し、交流の輪を広げます。
- ◇高齢者の方々が気軽に参加したくなるような魅力ある活動の場（サロン、健康教室など）を提供します。
- ◇高齢者と子どもたちが一緒に活動する多世代の交流の機会を作るため、地区社協、自治会、育成会などのネットワークづくりを進め、地域の活動を活性化させます。

活動目標 2 だれもが暮らしやすい地域を作ろう

- ◇あいさつや声かけ等をきっかけに、隣近所との付き合いを広げます。
- ◇見守り活動や家事支援サービスの充実を図るため、ボランティアを募集し、地域の協力者を増やします。
- ◇民生委員・児童委員や自治会は、見守り活動が必要な要援護者の同意のもと情報カード等を作成し、要援護者の状態や身内の連絡先などを把握し、もしもの時に備える仕組みを図ります。
- ◇防犯パトロールを行い、安心安全な地域づくりに努めます。

活動目標 3 災害に備える取組を充実させよう

- ◇自主防災会を中心にハザードマップで地域の特性を知ります。
- ◇災害時には地域ぐるみで声かけなどを行います。特に避難支援が必要な方には避難行動を支援します。
- ◇災害時に備え自治会、各種団体は、日常よりネットワークで情報を交換し、同意に基づいた個人情報共有し連携を図ります。
- ◇災害時の避難体制を構築するため、自主防災会や自治会などが中心となり、地域住民に呼び掛け、年に1回避難訓練を行います。

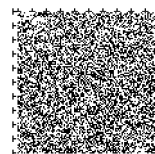


地図と主な地域資源



福祉協力員等育成事業 ●名細公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	鯨井自治会館	⑫	平塚自治会館	⑬	市営小堤団地集会所
②	上戸自治会館	⑬	平塚新田自治会館	⑭	小堤東団地集会所
③	吉田自治会館	⑭	鯨井新田自治会館	⑮	小堤(小堤区)集会所
④	みよしの自治会集会所	⑮	みどり会自治会館	●	名細公民館
⑤	天沼新田自治会館	⑯	広谷新町自治会館	☒	名細小
⑥	小堤自治会館	⑰	住友あおい自治会集会所	☒	上戸小
⑦	天金山集会所	⑱	川越ビレッジ集会所	☒	広谷小
⑧	下広谷北自治会館	⑲	ハイラーク川越集会所	☒	名細中
⑨	下広谷北自治会第2集会所(観音堂)	⑳	つくし会館	☒	鯨井中
⑩	下広谷南自治会館	㉑	コミュニティ春日		
⑪	下小坂自治会館	㉒	県営小堤団地集会所		

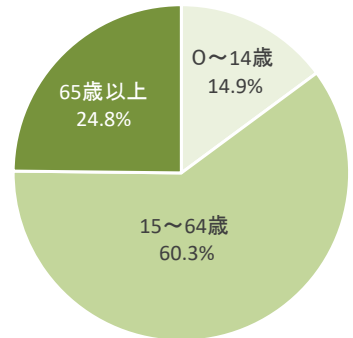


山田地区福祉プラン

市の北部に位置し、入間川を境にして比企郡川島町と接しています。のどかな田園地帯が広がるこの地区は、入間川のもたらす恩恵によって農業が栄え発展してきたところです。国道254号や県道川越栗橋線により市の北の玄関口となっており、さらに、県道川越北環状線が一部開通し、道路環境の改善や周辺地域の開発が期待されています。

■人口	11,955 人
■世帯数	4,977 世帯
■民生委員・児童委員数	14 人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	3 人
■ボランティア団体数	11 団体
■老人クラブ数	1 クラブ
■福祉施設数	14 施設

■年齢別割合



活動目標1 地域住民が交流する機会を増やします

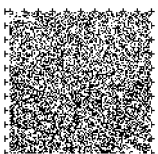
- ◇地域の中に顔見知りを増やし、安全・安心なまちをつくっていきます。
- ◇地域交流を図る機会をつくるため、積極的に行事を開催していきます。

活動目標2 安全で安心して暮らせる地域をつくります

- ◇地域福祉活動を担ってもらうボランティアを育成していきます。

活動目標3 支え合い・思いやりのある地域体制をつくります

- ◇災害時に地域で助け合える体制を整備していきます。
- ◇防災訓練や防災に関する学習会を実施し、災害に備える意識づくりに努めていきます。
- ◇見守り活動を充実させていきます。
- ◇救急情報キットを配布し、緊急時の連絡体制の整備を図っていきます。



地図と主な地域資源



一人暮らし高齢者集い事業
●北部地域ふれあいセンター



見守りマップ作成
●山田公民館

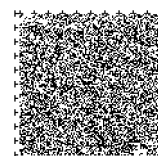


①～⑧いもっこ体操教室



みんなで歌おう会
●山田公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	上寺山公民館	⑤	北山田自治会館	●	山田公民館
②	寺山自治会館	⑥	南山田自治会館	●	北部地域ふれあいセンター
③	福田自治会館	⑦	府川自治会館		
④	山田西町集会所	⑧	石田自治会集会所		

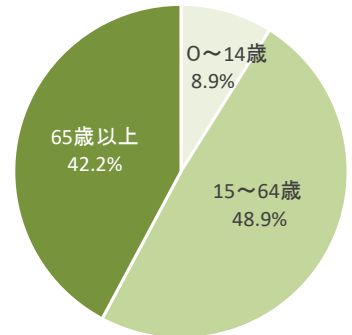


川鶴地区福祉プラン

川越市の西側に位置し、鶴ヶ島市と境を接する川鶴地区は、圏央道圏央鶴ヶ島ICから車で5分のところにあり、昭和50年代後半から旧住宅公団によって開発・分譲された5階建て中層住宅と戸建住宅の混在する純住宅地の静かな地区です。高齢化が進んでおり、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯も多くなっています。

■人口	5,633人
■世帯数	2,568世帯
■民生委員・児童委員数	12人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	2人
■ボランティア団体数	6団体
■老人クラブ数	4クラブ
■福祉施設数	4施設

■年齢別割合



活動目標1 地域のコミュニティづくり

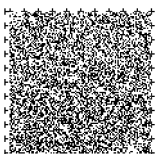
- ◇川鶴公民館と協力し、福祉協力員やボランティアの募集や養成講座を開催。
- ◇福祉啓発紙「福祉ニュース」の発行と配布。

活動目標2 世代間交流の場づくり

- ◇世代間交流事業「りょうり教室」の実施と各自治会夏祭りへの参加。
- ◇福祉バザーの実施。
- ◇各自治会や他団体の行事への協力。
- ◇川鶴公民館との共催により、子育てサロン「にこにこ子育て教室」の充実。

活動目標3 高齢者や障害者の日常生活を支援する体制の充実

- ◇一人暮らし高齢者に対し、高齢者会食会、配食「きさらぎ会」と友愛訪問の実施。
- ◇障害者への友愛訪問。
- ◇市、地域包括支援センターとの連携により、一人暮らし高齢者の見守り。
- ◇防災の広報活動や災害時のコミュニティづくり。



地図と主な地域資源



きさらぎ会
●川鶴公民館

川鶴市民センター
川鶴公民館



世代間交流事業
●川鶴公民館



地区別福祉懇談会事業
●川鶴公民館

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	かわつるグリーントウン初雁集会所	③	かわつる三芳野団地集会所	●	川鶴公民館
②	吉田新町自治会館	④	川鶴自治会集会所		

